

令和 8 年度 第 1 回山元町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和 8 年 6 月 2 6 日（金） 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 4 0 分
- 2 開催場所 山元町役場 2 階 第 2 会議室
- 3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 概要 以下のとおり
 - (1) 開会
 - (2) 開会の挨拶
 - (3) 議題
 - ① 教育等の振興に関する施策の大綱
資料 1 に基づき説明（説明者：伊藤和重教育総務課長）
 - ② 町長公約を踏まえた今後の教育施策の方向性について
資料 2 に基づき説明（説明者：伊藤和重教育総務課長）
 - (4) その他
 - (5) 閉会

【司会】（伊藤 教育総務課長）

定刻となりましたので、ただいまから令和 8 年度第 1 回山元町総合教育会議を開会いたします。開会に当たりまして、橋元町長よりご挨拶を頂戴いたします。よろしくをお願いいたします。

【橋元 町長】

橋元町長からの挨拶について、主な内容は以下のとおり。

- ・令和 8 年 4 月から 2 期目の町政運営を担うこととなった。
- ・教育は町の未来を左右する最重要分野の一つであり、教育施策の充実に引き続き取り組んでいく。
- ・教育委員との意見交換を通じて、町と教育委員会が共通理解を図りながら、実効性のある教育行政を推進していきたい。

【司会】（伊藤 教育総務課長）

ありがとうございました。それでは、次第に基づき会議を進めさせていただきます。会議の議長については、要綱第 4 条の規定に基づきまして、橋元町長をお願いいたします。

－以下議事－

【議長】（橋元町長）

それでは、議長を務めてさせていただきます。よろしくお願いいたします。

早速ですが、次第に沿って進めさせていただきます。

議題（１）「教育等の振興に関する施策の大綱について」、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

「教育等の振興に関する施策の大綱について」、説明させていただきます。

（伊藤教育総務課長より、資料①に基づき説明）

○主な意見等

【大内委員】

家庭学習への取組や保護者の教育意識の向上が学力向上につながると思うが、家庭への働き掛けは非常に難しい課題である。

【門間委員】

PTA 活動については、県レベルでは意欲的な保護者が集まり活発な議論が行われるが、地域や学校によって参加意識に差がある。教育に関心の高い家庭は自主的に学ぶ一方、そうでない家庭への働き掛けは難しい。保護者同士が交流し学ぶ機会を設けることが意識向上につながるのではないか。

【教育長】

PTA を廃止した地域もあり、以前ほど保護者の参加意識は高くない状況である。家庭学習の質や家庭での教育意識は学力向上に大きく影響するが、家庭への働き掛けは容易ではないため、学校だよりや PTA 等を通じて継続的に啓発していく必要がある。

【町長】

PTA 活動を通じて保護者同士や教職員との交流ができた経験があり、有意義であったと感じている。幼児期からの習慣形成や家庭環境づくりが重要であり、小さい頃からの教育環境整備が必要である。

【菅野委員】

学力向上は一つの施策だけで達成できるものではなく、様々な取組を総合的に進める必要がある。その中でも家庭学習の質を高めることが重要であり、保護者の教育意識向上が課題であるが、解決は容易ではない。

【横山委員】

幼児期からの教育環境づくりが大切である。子育て支援施策は充実してきているが、共働き世帯が多く、保護者と直接関わる機会が少なくなっている。幼児期から保護者への意識づけや教育環境づくりが必要だと感じる。

【教育長】

委員からの意見を踏まえ、家庭教育や保護者への働きかけについて、今後どのような取組ができるか検討していきたい。

【町長】

その他ご意見等は、ございませんか。

（（その他、委員からの特段の発言はなし）

それでは、令和8年度の教育等の振興に関する施策の大綱として、これを基に進めていきたいと思います。

それでは、次の議題に進みたいと思います。

【町長】

議題（２）「町長公約を踏まえた今後の教育施策の方向性について」、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

「町長公約を踏まえた今後の教育施策の方向性について」、説明させていただきます。（伊藤教育総務課長より、資料②に基づき説明）

<説明の概略>

- ・ 学校給食費無償化の継続
- ・ 学力向上支援事業の推進
- ・ 自動採点システムの導入
- ・ 各種検定（英検・漢検・数検等）の実施
- ・ 修学旅行費用支援
- ・ 国内外交流事業の再開
- ・ 文化遺産の活用推進

その後、町長から公約に込めた考え方について説明があった。

○主な意見等

【町長】

給食費無償化については、国からの財源を活用しながらも、保護者負担軽減を継続していく。新たに生じる財源については教育施策に還元したいと考えている。

修学旅行費支援については、保護者負担の軽減を図りたい。

国際交流については、海外での体験を通して子どもたちの視野を広げる機会を設けたい。安全面を考慮しながら準備を進め、将来的な実施を目指したい。

文化財については保存だけでなく活用を進め、体験型の取組を通じて子どもたちの学びにつなげたい。

自動採点システムについては、教職員の負担軽減と児童生徒への指導充実につながることを期待している。

【菅野委員】

自動採点システムは、中学校からも教職員の負担軽減につながっていると聞いており、効果が期待できる。

各種検定の実施は学習意欲向上につながる良い施策である。町内で受験機会を確保できれば、児童生徒にとって大きなメリットになる。

修学旅行費支援や国際交流も有意義な施策である。

文化財活用についても、茶室整備により町の魅力発信につながっており、学校教育との連携も期待できる

【横山委員】

子どもたちのために施策を進めてほしい。

地域おこし協力隊や民間団体との連携により、体験活動や交流機会を創出してほしい。

また、地域おこし協力隊が運営する施設等について、町民が利用しやすい仕組みや子どもたちが参加しやすい体験の機会があればよいと感じる。

【町長】

地域おこし協力隊については、地域課題の解決や定住促進を目的に活動しており、いただいた意見について今後伝えていきたい。

【門間委員】

修学旅行費支援は保護者負担の軽減につながるため期待している。

また、深山や少年の森などの地域資源も含め、子どもたちが楽しみながら参加できる事業を進めてほしい。

【町長】

他に質問・確認などありませんか。

(その他、委員からの特段の発言はなし)

【町長】

それでは、次第に基づき、「その他」に移ります。事務局から、その他の議題はございませんか。

【教育総務課長】

事務局からは、その他は特段ございません。

【町長】

それでは、以上をもちまして令和8年度第1回総合教育会議を閉会いたします。
本日はありがとうございました。